

メディアをつくる 流れを変える

—情報通信技術と女性メディアの可能性—

[情報通信月間参加事業]

「IT、ITっていうけど、技術って何か難しそう..」って思って、手を出しそびれていませんか？
でも、情報通信技術は以前よりぐ〜んと身近にカンタンになってきています。
そう。映像だってどんどん流せてしまう。マイ放送局(!!)を持つことも、もう夢ではない。
ちょっとした行動とネットワーキングでメディアを面白く使えるはず。
「伝えてもらう女性」から「伝える女性」へ。気持ちを変えて体験&トーク。
「私たちのメディアがある」と思えば、新しい流れが見えてきます。あなたの夢を教えてください。

◇日程：7月7日(土)10時~19時・全日フォーラム

◇会場：ドーンセンター 5階 大会議室&視聴覚室

(大阪府中央区大手前1-3-49 TEL 06-6910-8500)

◇内容：(詳細プログラムは裏面に掲載しています)

◎午前の部：パネルディスカッション 【10:00~11:40】

「女性が主体的にメディアをどうつくるか」

◎昼の部：体験ワークショップ 【11:40~16:30】

「・映像・取材・インターネット・発信・」

(A)インターネットなんでもバズ(Q&Aコーナー)

(B)編集なし!ビデオカメラだけで作品づくり

(C)取材の基礎:取材見学、制作、または企画

(D)ストーリーミング(音声や映像をネットで流してみる)

◎午後の部：ラウンドテーブル&フリートーク 【16:30~18:30】

「わたしたちのメディアをつくろう」

☆夜の部：交流会と「引き続き・なんでもバズ」 【18:30~20:00】

◎参加費：一般/5,000円(資料代含む) ※学生・市民団体割引/一人1,000円(当日2000円) 資料代別

◎申込み：メール、FAX、TELにて、お申込みの上、下記口座へ直接参加費をお振込みください。

(お名前、確実な連絡先、学生は学校を、市民団体の方は、団体名と活動年数を明記ください)

- ・ email <fem-web+77forum@jca.apc.org> (lalamaziwa@jca.apc.org ほか、受け付け担当が受信します)
- ・ TEL/FAX 06-6681-9766 (松本、TELは20時以降) 又、0726-94-8177 (黒瀬、19~22時)
- ・ 振込先：郵便振替口座 00940-8-323383 名義：松本澄子
- ・ 「振込みの控え」を参加確認証とします。当日ご持参ください。

◎共催：fem-net、日本女性学研究会、ビデオ工房AKAME、市民とメディア研究会・あくせす

追加情報はこちらからどうぞ → www.jca.apc.org/fem

☆ 詳細プログラム ☆

10:00 開会のご挨拶

10:10 午前の部：パネルディスカッション

「女性が主体的にメディアをどうつくるか」

メディアの分野で活動している映像世代の30代女性から話を聞き、「女性が主体的にメディアをどう作るか？」その必要と可能性を探ります。

コーディネーター

岡山朋子（市民とメディア研究会・あくせす）

パネラー

- ◇ 女性がビデオを作る意義・・・・・・・・・・江上諭子（ビデオ工房AKAME）
- ◇ 女性国際戦犯法廷、ビデオ制作を経験して、見えてきたこと・・・・瀬山紀子（ビデオ塾）
- ◇ ジェンダー、アート、ビデオアクティビズム
安田和代（アート・コーディネーター／GAAP - Gender and Arts Project）
- ◇ 情報通信技術とブロードバンドが開く可能性・・・・白石 草（ビデオジャーナリスト）
質疑応答、ディスカッション

11:40 昼の部：体験ワークショップ

「・映像・取材・インターネット・発信・」

2時間半のワークショップでは、映像作品を作る基本や、インターネットで音声や映像を流す方法、取材のノウハウなどを体験します。
ワークショップの様子や作品をWebページに仕立てて即時公開します。

11:40～12:10 オリエンテーション〈講習進行説明・班分け確認〉

12:10～15:30 体験ワークショップ（昼食時間含む）

- (A) インターネットなんでもバズ（Q&Aコーナー）
- (B) 編集なし！ビデオカメラだけで作品づくり
- (C) 取材の基礎：取材見学、制作、または企画（いずれかを実施）
- (D) ストリーミング実習（音声や映像をネットで流してみる）

16:00～16:30 体験ワークショップ・ふりかえり〈講習の成果（?）〉

16:30 午後の部：ラウンドテーブル&フリートーク

「私たちのメディアをつくろう」

発案者の方に「こんな女性メディアが欲しい」という夢を語ってもらいます。
夢、現実、ギャップ、ニーズ、行動について意見交換し、
女性メディアのビジョンを共有しましょう。

◇進行役：内藤陽子（市民とメディア研究会・あくせす）

◇発案/話題提供

「世界女性会議の報道に取り組んでみよう」 lalamaziwa (fem-net)

「少数者の立場に立つメディアとは」 吉富志津代（多言語センターFACIL）

「女性とメディア、女性センターの取り組み」（交渉中）

「わたしが考える女性メディア」 参加者から

◇当日参加者を交えての意見交換

18:30 夜の部：交流会と「引き続き・なんでもバズ」